



# 未来の地球を救う お店探検ツアー

日時：2018年8月1日（水）

13：30～16：00

場所：東京都生協連会館

参加：親子8組 21名

（子ども8名・保護者8名・幼児3名・見学2名）

主催：東京都生協連

協力：コープみらい中野中央店

社会のさまざまな問題を解決し、よりよい未来を迎えるため2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2030年までに世界が協力しあって解決しなければならない国際目標です。大人も子どもも楽しく学び、普段のくらしの中で2030年ゴールに向けたアクションにつなげることを目的に開催しました。

## ◆お話し◆

### 地球がタイヘン!!

### 2030年までに世界で協力しなくちゃいけないこと

講師：櫻井 麻紀子さん（日本生協連）



子どもたちに「2030年、皆さんお仕事しているかもしれないね、大きくなったら何になりたいですか？」と優しく問いかけ「自分の住んでいる町はどうなっているでしょう？」と未来にイメージを膨らませるところからお話していただきました。クイズに答えながら、世界を取り巻く自然災害や貧困・格差、児童労働などの問題に気づき、SDGs（エスディーゼス）17の目標について学びました。



目標12：つくる責任 つかう責任  
生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう

講師資料より抜粋

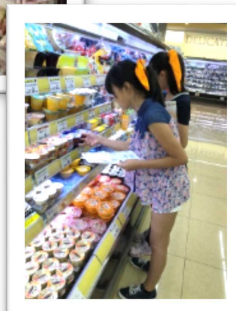
## ◆お店探検◆

### お店で探そう!買ってみよう!地球の未来を守るもの!!

### コープみらい コープ中野中央店にて買いもの探検

商品についているマークばかりでなく、地域や環境、社会や人々に配慮されたエシカルなものやサービスも見つけました。

みんなで協力!たくさんマーク見つけたよ!



店頭ポスター



リサイクルボックス

## ◆ワーク◆

### 未来の地球を救うために、僕が、わたしができること



#### 「ぼくがわたしがえらんだものシート」

自分が購入した商品を記入し、17個あるSDGs目標のどれにつながっているのかをシールを貼って確認しました。シールは一枚でなく複数貼れる商品もあり相互につながっていることに気が付きました。

#### 未来を救うアイデアでいっぱいの木にしよう！

参加者全員でくらしの中で出来る未来を救うアイデアを出し合いました。模造紙に貼りきれないほどのたくさんのアイデアが出ました。



#### 《アイデアの木》

- 水を出しすぎない●海や川をきれいにして魚を守る
- えんぴつを最後まで使う
- エコバックを持参する
- エシカルマークのついている商品を選ぶ
- 海や川をきれいにして魚を守る
- 不平等をなくす
- エレベータを使わないようにする

#### ～参加者アンケートより～

- （目標が）17こあることがわかりました（1年生）●2030年までにやらなきゃいけないことがすごくあっておどろきました（3年生）●マーク一つひとつに大切な意味があることを知りました（6年生）●子どもたちがSDGsについてどのように学び、どのように感じるか興味があった。参加してみるととても分かりやすく、子どもたちの興味をそそる内容で楽しかったです。
- 1年生なので難しいかと思っていましたが、未来のために何ができるかというワークに色々な考えを出していて驚いた。●ユニセフの動画がわかりやすかったです。（学校のための持続可能な開発目標ガイド）

大人も子どももSDGsについて楽しく学び、「普段のくらしの中で2030年までのゴールに向けたアクションにつなげる」という目標に近づくことが出来ました。今回1年生から6年生まで参加してくれたことでどの学年でも十分学びあえました。実際の買い物をカードで代用するなど会員生協でも取り組んで頂けると嬉しいです。

